

提 案 書

平成26年9月30日

(あて先)

埼玉県教育局教育総務部教育政策課長様


所 属：桶川市立日出谷小学校

職 氏 名：教諭・橋場能成

連絡先の電話番号：048-786-2880

埼玉県教育委員会教職員提案制度募集要項に基づき、次のとおり提案します。

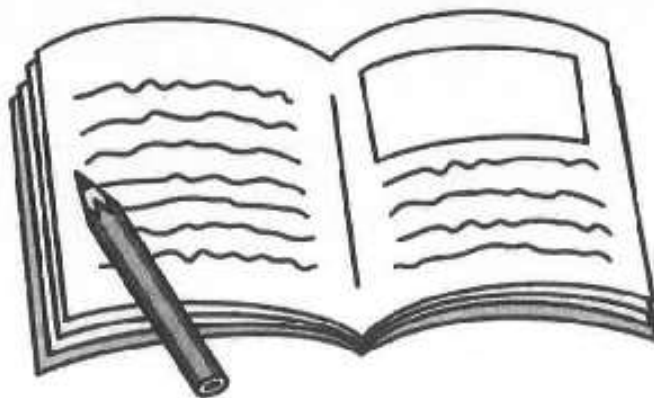
タイトル：学力向上のための学習力向上メソッド
実践事例の要旨： 各教科の学習力を向上させるために、学校・家庭の両面における学習の意識付け。
実践に至った背景： 学校課題研究において、国語科を中心に【書くこと】について研究を進めるに当たり、ノートのとり方や、家庭に対して学校からのはたらきかけが必要だという考えになり、今回の実践に至った。
実践のねらい及び内容： (ねらい)：①全校で板書・ノートの書き方を教科毎に統一することで、6年間を見通した指導を実践することができる。統一することにより、次年度の授業においても同じノートの書き方をするため、年度初めから密度の濃い学習指導に臨める。 ②家庭学習に対する意識を高める。 (内 容)：①国語・社会・算数・理科の授業において学習内容をしっかり分かりやすくまとめるために板書・ノートがリンクするように全校統一で書式を定めた。各教科のノートの表紙裏に見本を張り、いつでも書き方を確認できるようにした。また、全教科を通して、鉛筆（黒）赤・青鉛筆の3色でノートが構成できるように、板書をする際にも色の数をしぼり、子どもたちがノートを書くことに集中できるようにした。 ※参照資料1 ②【学校からの家庭へのお願い】として学校で学んだ学習内容の定着のために、家庭で必要なことを明記し、学校・家庭の両輪で学習内容の定着を確かなものにするようなはたらきかけを行う。また、学年の発達段階に応じた取組方法や取り組む時間を資料として添える。 ※参照資料2

実践の成果や効果： ①児童に学習規律を身につけさせ、スムーズにどの授業にも臨むことができた。 ②特別に支援を必要とするような児童への指導が容易になり、児童にとっても板書をノートに書き写しやすく、授業を振り返ることの出来るノートになった。 ③教務や学年内での出授業・入り授業の際にノートの指導が必要なく、どの教師の板書であっても、ノートの書き方が変わらず、学期や年度が替わった際にもスムーズに授業を行うことができた。 ④教師の授業力向上につながった。特に経験の浅い教師において、板書・ノートの書き方を意識した授業を行うことは、ねらい→活動→指導と評価の一体化につながった。校内授業研究会などで検証し、教師の授業力向上につなげることができた。 ⑤家庭へのはたらきかけにより、配付資料を用いて、家庭訪問や個人面談の際に学年相応の目安を意識した話し合いになり、児童の学習活動の成果と課題を明確に出来た。	
実践期間：23年4月～	
実践事例のセールスポイント： ①この取り組みにより、児童への学習規律の定着を図ることができる。ノートを書く際に鉛筆5～6本と、赤・青鉛筆、定規、消しゴム、と必要なものが少なくなり、筆箱の中身がすっきりして、授業中に集中力を阻害する物を無くすことができた。 ②教師の板書への意識が高くなり、教室の美化につながった。	
<実践事例を他校でも活用できる方策等> * 他校で導入する際のポイント： ①学校全体の実態、各学年の実態を把握し、各教科部会においてどんな統一が可能なかをしっかりと見極め、全教職員が取組可能かどうかをしっかりと確認する必要がある。また学校規模・職員の人数に応じて、負担も異なるので、全教職員で分担して作成することが大切である。 ②学校区の地域の実態に応じて、家庭へのはたらきかけの方法も異なるので、アンケートなどを行い、そこから目標を定め実態を踏まえた家庭へのはたらきかけにつなげる。	
* 失敗しないための秘訣： ①開始は年度初めに全学年、一斉に行うことが理想。もしくは学期始め。 ②全教職員が板書・ノートの書き方をしっかり把握することが、絶対に必要。 ③学年便りなどで、定期的に家庭への連絡・啓発として、児童・保護者に意識させる。	
* こうすれば自校よりも高い効果が得られるという方策： 板書・ノートの書き方の校内研修（模擬授業など）を各教科主任を中心に行うことで、さらに教師一人ひとりの授業力向上につながる。	
* その他：	
公的支援（予算措置や教職員の加配等）への要望 ・製本等する場合においてその際の紙・印刷（カラー）・製本代の予算配当。	実践元の所属長確認 動画や写真の使用許可 

- ※ A4判縦の用紙に横書き3枚以内で提出してください。
- ※ 資料（印刷物、動画や写真のDVD）を添付していただいても構いません。
 - ◎ 印刷物による資料は規定枚数には含みません。
 - ◎ 資料提出に当たっては著作権や肖像権等に御注意ください。
- ※ 実践を行った学校名等が公開される可能性があります。予め、実践元の所属長に提案内容について御確認ください。

平成26年度版

桶川東小ノートの使い方



桶川東小学校 国語科ノート使用の約束

国語の授業では、このノート指導で共通理解を図ります。参考にしてください。

学習の進め方

① 目標の確認

その学習で、どのような力を身につけるのか明確にしてください。指導目標をもとに、児童に分かりやすい表現で書いてください。

② 学習計画を立てる。

学習計画を立てることで、児童は学習の見通しをもつことができます。できれば、児童の意見から立てることが望ましいです。

③ 伝え合う活動を取り入れる。

ペアやグループなどで言語活動の充実を図り、伝え合う力を高めていきましょう。

4/17(木)

カレライス

課題

重松 清 作
唐仁原 教久 絵

初回は必ず書く。

まとめ

青で囲む。

赤で囲む。

① 日付と曜日を書く。題名は毎回板書する(児童は初回のみ)。作者・絵は初回に書く。

② 課題は青で囲む。まとめは赤で囲む。

③ 線は全て定規で引く

④ 授業の流れは、右の学習の進め方を原則として授業を展開する。

桶川東小学校 社会科ノート使用の約束

社会の授業では次年度以降につなげていくため、このノート指導で共通理解を図ります。見本も添付しましたので、参考にしてください。

学習の進め方

① つかむ

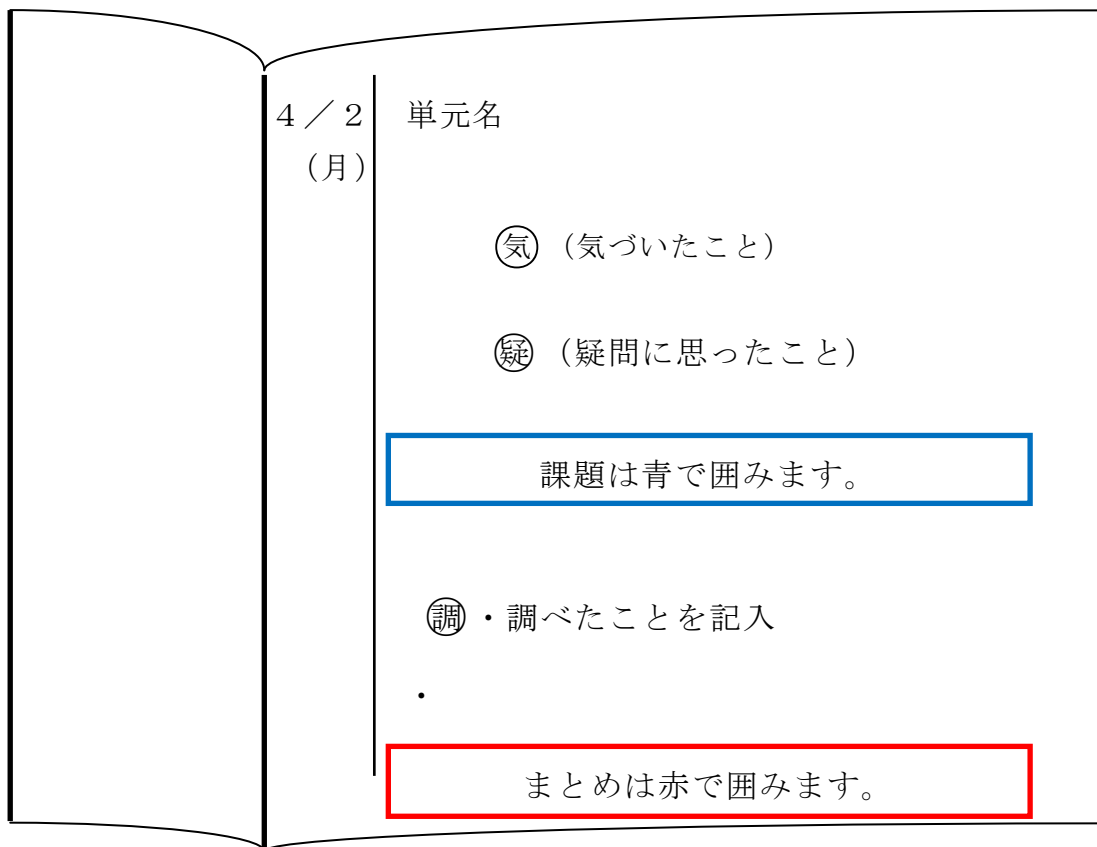
気づいたことや疑問に思ったこと、調べてみたいと思ったことを出し合って学習課題をつくります。

② 調べる

調べたいことを決めて、みんなでそれを調べよう。

③ まとめる

学習課題を解決し、さらに学習を広げていこう。



- ① 日付と曜日を一本、線を引いた外側に書く。
- ② 課題は青で囲む。まとめは赤で囲む。
- ③ 線は全て定規で引く
- ④ 授業の流れは、上の学習の進め方を原則として授業を展開する。

4/5 1 日本の歴史

大単元

一行空ける

①縄文のおりから古墳のくにへ

単元

p20 巨大古墳と豪族

小単元

資料から

つかみ

鍵穴のよな形だ。墓をどうやっ
こんな大きな墓ろう。
てつくったのだらう。

みんなで作った学習課題

課題

古墳は、何のために、どのような
にしてつくられたのだらう。

調べる

調べてわかったこと

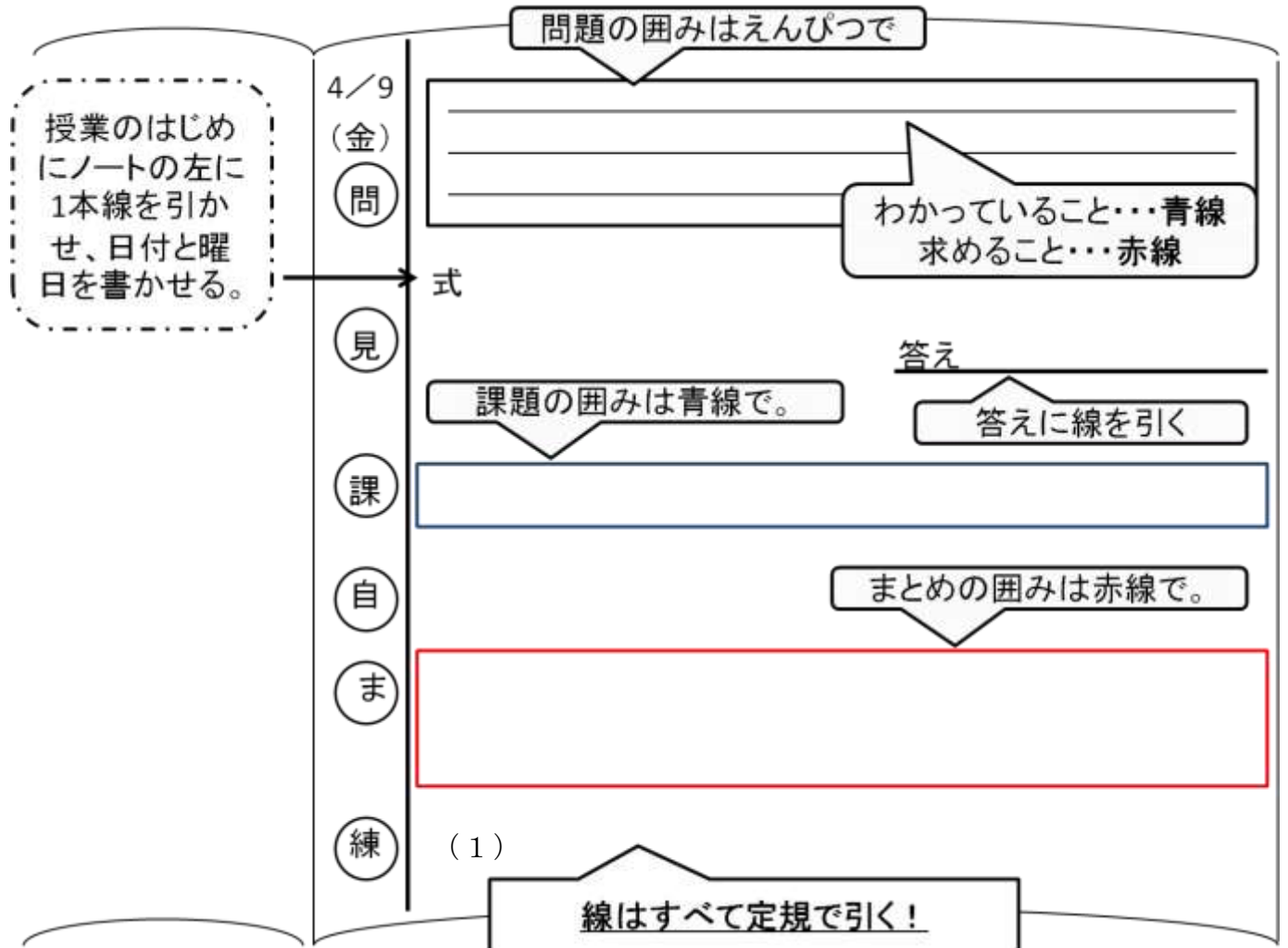
- ・ 工事期間... 15年8カ月
- ・ 動員人数... 680万7千人
- ・ 総費用... 796億円

まとめ

豪族や王は、自分の力
の強さを
示すために、大きな古墳をつく
らせた。

桶川東小学校 算数科ノート使用の約束


算数の授業では、次年度以降の学習につなげていくため、このノート指導で共通理解を図ります。



- ① 授業のはじめにノートの左端に1本線を引かせる。日付と曜日を線の外側に書く。
- ② 問題はえんぴつで黒線、まとめは赤線、課題は青線で囲む。
- ③ 問題のわかっていることには『青線』、求めることには『赤線』を引く。
- ④ 答えにも線を引く。 答えは (A や Ans のようにせず、**答え**と書く。)
- ⑤ 授業の流れは、「問題→見通し→課題→自力解決→練り上げ→まとめ→練習問題→感想」で授業を展開していく。
- ⑥ 問題番号や () は1本線の内側に書く。
- ⑦ 図や途中式、筆算などの考えは消さずに残しておくように指導をする。


色紙が60まいあります。この色紙を1人に20まいずつ分けると、何人に分けられますか。

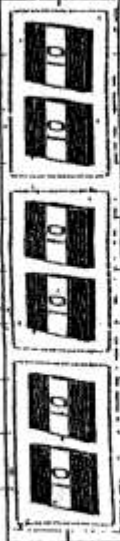
 わかっていること... 青
求めること... 赤
アンダーラインを引こう。

 ときかたを、予そうしてみよう。
答えは、おおよそどのくらいか、よそうしてみよう。

式 $60 \div 20$

何十÷何十の計算のしかたを
考えよう。

 絵・図・数直線・今までの習った計算などで説明しよう。
なぜ、そうなるのか、言葉で理由を書こう。
ひとつの方法が、できたら、ちがう方法も考えてみよう。



$60 \div 20 = 3$
 $6 \div 2 = 3$ 答え 3人

0を消すことは、10でわることに
10のたばで考えるのと同じ。

⑧ $80 \div 40 = 2$

赤線

⑨ 10 を 20 の商は、 $6 \div 2$ の商
と等しくなり、 $60 \div 20$ の商は、 $6 \div 2$ の商

桶川東小学校 理科ノート使用の約束

理科の授業では次年度以降につなげていくため、このノート指導で共通理解を図ります。見本も添付しましたので、参考にしてください。

学習の進め方

- 課題**
 - ・いろいろな物事や現象から問題を見つけて課題をたてる。
- 予想**
 - ・課題の答えを予想する。
 - ・理由（予想の根拠）を書く。
- 観察・実験の計画**
 - ・予想を確かめるための観察や実験の方法を計画する。
- 観察・実験**
 - ・計画に基づいて観察や実験をする。
- 考察**
 - ・観察や実験の結果を検討する。
- まとめ**
 - ・観察や実験の結果をもとに、導き出されたことをまとめる。
- 活用**
 - ・習得した知識や技能などを活用する。日常の現象や事物とつなげる。

4 / 9
(金)

課

単元名

課題は青で囲む。

- ・日付と曜日は線を引いた外側に書く。
- ・課題は青、まとめは赤、その他は黒で囲む。
- ・線はすべて定規で引く。

予

- ・予想を書く。
- ・理由（予想の根拠）を書く

観 実

(観察・実験名) 枠は黒で囲

方

- ・観察や実験の方法を計画して、図などを入れて書く。
 - ・準備する物
 - ・予想を確かめる方法
 - ・そろえる条件と変える条件・想定される結果

結

(実験の結果) 結果は実験からのもの。個人の意見は入らない。

考

(実験の結果から考えたこと・わかったこと) 個人の考えを書く。

ま

(課題の答えを書く) まとめは赤

学級や教師がまとめた課題の答え

4/8 1/3 発芽と成長

種子が発芽するには、水のほかに何が必要なのだろうか。

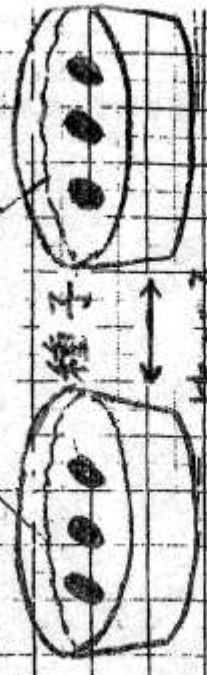
① 適した温度が必要だと思ふ。理由 春に出るから。予想の理由と書く

② 発芽に適した温度を調べよう

- ③ 用意する物
- ・ インゲンマメ
- ・ だし綿
- ・ シャーシ
- ・ 水

変えることと同じにすること
温度 温度以外(空気、水)

水をふくませただし綿



ふっつうの温度をふせせる。予想が正しいければ、冷たく中に置くと発芽しない。予想が正しい場合は、冷たく中に置くと発芽しない。

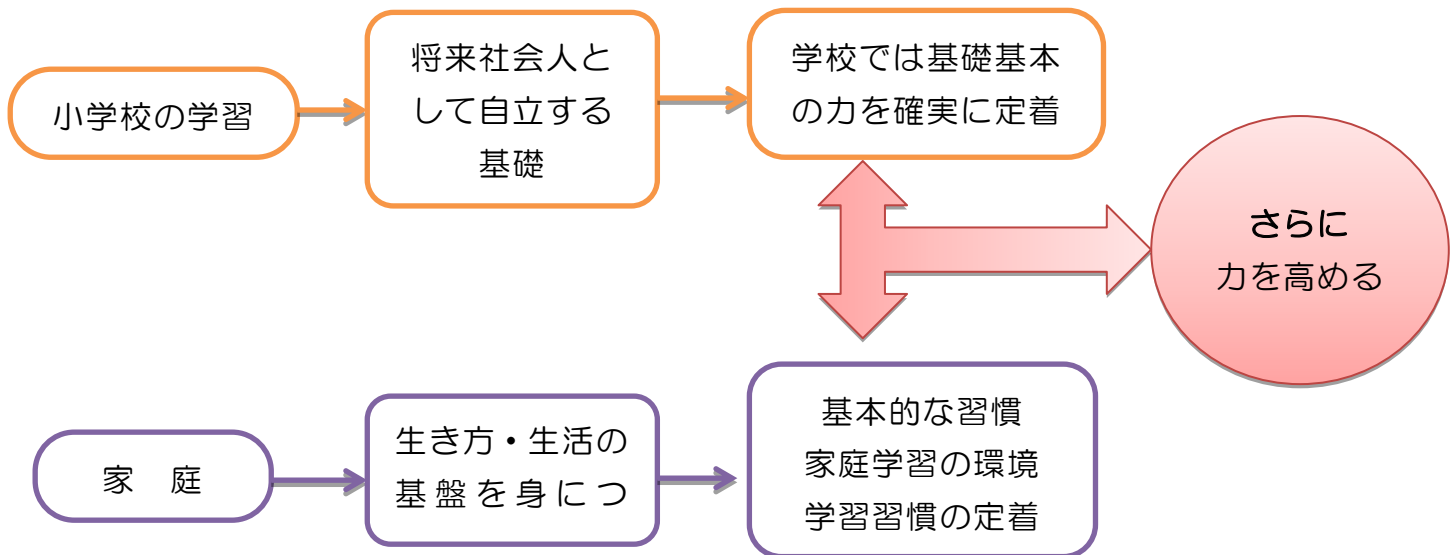
④ 低い温度の箱をかぶせる。冷たく中に置くと発芽しない。

観察と比べは同じになることがある

⑤ 発芽した種子が発芽するには、水のほかに適した温度が必要

自ら学ぶ けやきっ子

家庭学習の手引き



学校から家庭へのお願い

○子どもの可能性を伸ばすはたらきかけをお願いします。

- ・集中して学習に取り組ませましょう。
- ・やったことを認め、ほめましょう。
- ・ときにはお子さんといっしょに本を読み、感想など話し合うなど、読書の楽しみを伝えてあげましょう。

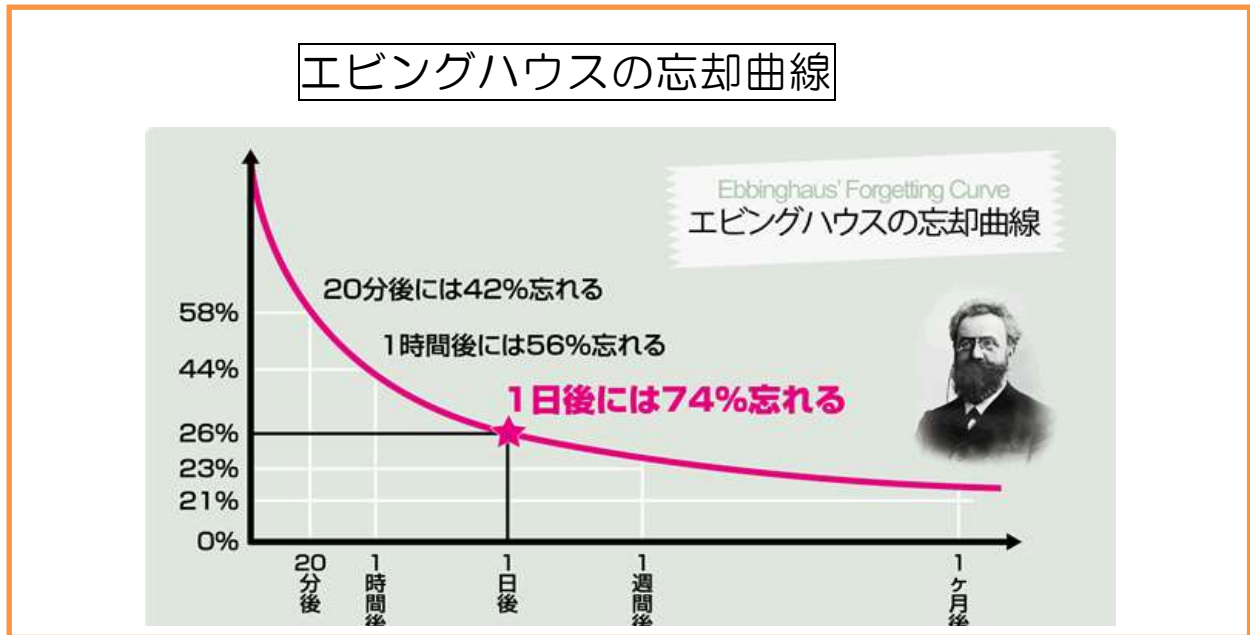
○生活のリズムを整えましょう。

- ・早寝・早起き・朝ごはんを実行しましょう。

家庭学習のすすめ

☆復習をしよう！

復習すると、学校で学んだことが、自分の力になります。
復習しないと、すぐ忘れてしまいます。



☆計画的に家庭学習を進めよう！

勉強時間を決めよう。
生活リズムを整えよう。(早寝、早起き、朝ごはん)
目標をもって努力しよう。
家庭学習時間のめあす

10分×学年
1年生 10分 2年生 20分 3年生 30分

家庭学習 4つのポイント

1 家で勉強する時刻を決めておく。

○毎日なるべく同じ時刻に始めましょう。それを続け、習慣にしましょう。

2 最初に、まず「宿題」をやる。

○まず宿題を片付けて、すっきりしましょう。次は、自主学習です。

3 復習はその日のうちにやる。

○今日学習した内容を、教科書、ノートで振り返りましょう。

○わからない時は、教科書を見たり、調べたりします。

4 落ち着ける場所で学習する。

○机の上をいつもきれいにしておく習慣をつけましょう。

○テレビや音楽は消し、「ながら勉強」をしません。テレビを見る時間をきめて、勉強する時間は集中できる習慣をつけましょう。

かていがくしゅうのないよう 1・2年

こくご

【おんどく】

- たのしみながら、くちのかたちやこえのおおきさにきをつけて、よめるようにしましょう。
- くとうてん（「、」や「。」）にきをつけて、すらすらよめるようにれんしゅうしましょう。
- まいにち つづけて れんしゅうしましょう。

【かくこと】

- 正しいしせいで、正しいえんぴつのもちかたで、ていねいにゆっくりかきましょう。
- ひらがな・カタカナ・かんじを 正しい かきじゅん・かたち・おくりがなでかけるように、れんしゅうしましょう。
- こくごのきょうかしの ぶんを、正しく かきうつせるように れんしゅうしましょう。

さんすう

- かずの よみかた・かきかたを れんしゅうしましょう。
- まずは、ゆっくり 正しく けいさん できるように しましょう。
- 正しく けいさんできるように なったら、すこしずつ はやくできるように れんしゅうしましょう。
 - ◆ たしざん・ひきざんの れんしゅうをしましょう。
 - ◆ 〈かけざんを べんきょうしたら〉九九をすらすらいえるように、れんしゅうしましょう。

そのほか

- たのしかったことや うれしかったことを、じぶんのことばで、えにっきや につきにかいてみよう。
- せいかつかの がくしゅうに かんれんした、おてつだいを しましょう。
- なわとびや てつぼうなど、たいりよくづくりに チャレンジしましょう。
- けんぱんハーモニカの れんしゅうを したり、どうしょくぶつの かんさつを したりしてみよう。

国語

【宿題】

- 音読…主人公の気持ちやしょうけいをそうぞうしながら、文章をせいかくに読もう。
- 漢字…正しい書き順でとめ、はね、はらいに気をつけて、ていねいにくり返し練習しよう。

【自主学習】

- 習った漢字を練習しよう。
- 教科書の文章を正しくはやく書き写そう。
- 国語辞典で意味調べをしよう。

算数

【宿題】

- 計算ドリル…習ったことをくり返し練習しよう。

【自主学習】

- 教科書、ノートを見て、かけ算やわり算が正しくはやくできるようにしよう。
- 次の授業の学習内容を教科書で確認しよう。
- 学習したことをノートやドリルで復習しよう。

そのほか

【宿題】

- 授業で指示があった課題に丁寧に取り組もう。

【自主学習】

- 教科書、ノートを見て学習したことの復習をしよう。
- 地域社会の社会や産業についてまとめよう。
- なわとび、ボール運動、ブリッジなど体力作りにチャレンジしよう。
- 音楽で習った曲を演奏しよう。(リコーダー、鍵盤ハーモニカ、歌など)
- 音楽記号を覚えよう。

家庭学習の内容 5・6年

国語

【宿題】

- 音読…筆者の気持ちや伝えたいことを考えながら読もう。
- 漢字…とめ・はね・はらいに気をつけ、正しい書き順で丁寧に練習しよう。
繰り返し練習しよう。

【自主学習…自分で考えて学習しよう。】

- ことわざや熟語の意味調べをしよう。○詩をつくってみよう。○視写をしてみよう。
- 日記を書こう。○読書をして感想文を書こう。○漢字練習をしてみよう。

社会

【宿題】

- 授業で指示があった課題に丁寧に取り組もう。

【自主学習…自分で考えて学習しよう。】

- 教科書、ノートを見て学習したことの復習をしよう。○重要な語句を調べ、まとめよう。
- 新聞やテレビのニュースで世の中の動きを調べよう。
- 資料集のグラフを読み取り、わかったことをまとめてみよう。
- 地図帳で、地名やその土地の工業製品や特産品などを調べよう。

算数

【宿題】

- 計算ドリル…正確に計算する力をつけるために、繰り返し行おう。

【自主学習…自分で考えて学習しよう。】

- 教科書、ノートを見て学習したことの復習をしよう。○明日の授業を予習しよう。
- いろいろな公式をまとめよう。○計算練習をしてみよう。○自分で問題を考えよう。

理科

【宿題】

○授業で指示があった課題に丁寧に取り組もう。

【自主学习…自分で考えて学習しよう。】

○教科書、ノートを見て学習したことの復習をしよう。 ○重要な語句を調べ、まとめよう。

○身近な科学に関することを調べよう。○自由研究をしてノートにまとめよう。

その他

○なわとびや鉄ぼうなど体力作りにチャレンジしよう。

○音楽で習った曲を練習しよう。(リコーダー、鍵盤ハーモニカ、歌など)

○音楽記号を覚えよう。

○家庭科で習ったことを復習しよう。